

教科	地理歴史科	科目	地理総合	学年	3年	類型	商業科
単位数	2	教科書	新地理総合 詳解現代地図最新版	出版社	帝国書院 二宮書店		
副教材	新地理総合ノート						

学習の到達目標

<p>(1) 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。</p> <p>(2) 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>(3) 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p>
--

授業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できるように事例学習を工夫していく。</li> <li>・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に関連性を考察できる力を育成します。</li> <li>・世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解できるように視聴覚教材を有効に使う能力を身に付けます。</li> </ul>
--

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>・現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
評価の対象	定期考査・課題確認テスト(小テスト)・授業時の観察	定期考査・単元テスト・課題レポート・授業時の観察など	学習への参加状況 振り返りシート・ループリックなど
備考	<p>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</p> <p>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</p> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの                      4 … 十分満足できると判断できるもの                      3 … おおむね満足できると判断できるもの                      2 … 努力を要すると判断されるもの                      1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1学期	第1部地図でとらえる現代世界 第1章地図と地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できる。</li> <li>・地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	1学期 中間考査
	第2章結び付きを深める現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</li> <li>・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	
	第2部国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</li> <li>・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	1学期 期末考査
2学期	4節 歴史的背景と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察する。</li> <li>・さまざまな歴史的な背景は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのか考察する。</li> </ul>	2学期 中間考査
	第2章 地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	
	3節 資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが日常生活を営むうえで、資源やエネルギーは欠かせない。世界の資源やエネルギーの利用にはどのような課題があるのだろうか。また、持続可能なエネルギーの利用方法とは、どのようなのか考察する。</li> <li>・エネルギーの利用にはどのような課題があり、どのように解決したらよいか考察する。</li> </ul>	
	4節 人口問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人口分布には偏りがあり、人口増加の傾向や人口構成も、国や地域によって異なっている。世界には、国や地域によってどのような人口問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。</li> </ul>	2学期 期末考査
3学期	6節 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界にはさまざまな規模の都市があり、近年は、世界の各地域で都市人口が急増している。世界には、国や地域によってどのような都市・居住問題があり、どのような対策が行われているのか考察する。</li> </ul>	
	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</li> <li>・さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</li> </ul>	
	1節 生活圏の調査と地域の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられる。生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいか考察する。</li> </ul>	